

(令和4年2月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>2月は、まん延防止等重点措置による飲食店等の営業需要が減少し、総入荷量は前年同月比で11%，総取扱金額は、前年同月比で3%下回った。</p> <p>3月はわかめ漁の最盛期を迎える。中央市場では、生鮮品、塩蔵品、乾燥品のわかめ製品を取扱っているが、生わかめを食することができるものはこの時期に限られる。さっと茹で、みそ汁や酢の物などで磯の香りを味わっていただきたい。</p>
鮮魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は17%上回った。</p> <p>品目別には、まだい（天然）、ふぐの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。はまち（天然）、さわらの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は上回った。</p>
冷凍魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は12%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
加工水産物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は、加工商品全般で需要の伸びが見られなかつたことから4%下回った。</p> <p>品目別には、塩さばの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ちりめん、ゆで丸がにの入荷量は前年同月を下回ったが、良品物の入荷が減少したことから、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮魚) ま　あ　じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で48%下回り、単価は21%上回った。
ま　い　わ　し	石川、千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は節分用の需要がみられたことから21%上回った。
さ　　ば	千葉、富山で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は31%上回った。
す　る　め　い　か	富山、宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で53%下回ったが、単価は、中小型物中心の入荷から6%下回った。
太　　物	総入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は19%上回った。
よ　こ　わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で54%上回り、単価は15%下回った。
ぶ　　り	長崎、鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は38%上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で 95 %上回ったが、単価は、大型物の入荷減少による値上がりが影響し 20 %上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で 27 %上回ったが、単価は、大型物主体の入荷から 3 %上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で 24 %下回り、単価は 20 %上回った。
す け そ う こ	入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。